



八高生職場体験レポート

■広報やくも取材体験

この記事は、
八雲高校2年生の生徒が
担当しました！

八雲町が魅せる～未来の私たちを想像して～

八雲高校インターンシップを終えて

9月17日と18日の2日間、八雲高校2年生の生徒65名が、働くことの大切さを学び、進路選択や学習意欲の向上を図るため、町内にある24か所の企業・福祉施設・官公庁でインターンシップに取り組みました。

私たちは役場でのインターンシップに参加し、「広報やくも」へ掲載用の記事を作成するため、各インターン先で職業体験をしている八雲高校生にインタビューを行いました。

まず『なぜこの職業を選んだのか』と尋ねると、「その職業に興味があり、仕事内容や現状を具体的に知りたかったから」や「もともとその職業の仕事を興味があったから」との答えが多数を占めました。このインターンシップという機会を使って、どの職業においても「働くこと」というものを学び、自分自身の将来に活かす良い機会になったようでした。

次に『インターンシップで学んだことを教えてください』と聞くと、「勤務内容を具体的に知ることができた」や「仕事をするうえで意識すべき点を理解できた」といった回答がありました。インターンシップを経験したことで、仕事に対する理解が深まり、多くの学びを得られたということを聞くことができました。

また『職業体験をした感想を教えてください』との質問には、「普段ではできない経験ができ、とても良かった」や「仕事のリアルな部分が見られた」と答えてくれました。インターンシップを通じて、ネットで見られる仕事に関する情報以外にも、その仕事をするうえでの心構えや、業務に掛かる時間など、具体的に仕事を知ることができたと感じているようでした。

最後に、『将来の職業活動の参考になったか?』と聞いたところ、インタビューを受けてくれた生徒全員が「将来の就職活動の参考になりました!」と答え、とても充実したものであったことがわかりました。

この2日間で、普段は知ることのできない「仕事」について、インターンシップを通して知ることができました。

仕事の一つ一つが大変で、自分で資料などをまとめたり、パソコンで資料を写したり、どの仕事も責任重大でした。

改めて、「仕事」とは責任をもって、自ら行動することだと感じました。

インターンシップにご協力いただいた皆さま、インタビューに応じてくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

